

産業能率大学 経営学部

日本の金融のしくみ	履修年次	2	
	単位	2	
川並 剛	配当期	後	
	授業方法	講義/ オンデマンド	
<b>授業の内容</b>			
<p>[授業の概要]            前半は、2007年に生じたサブプライム問題、2008年に発生したリーマンショックに端を発した世界的な金融市場の混乱、そして2010年に起きた欧州金融危機を概観する。次に「失われた20年」の脱却を目指す我が国の経済実態と“アベノミクス”の政策的課題を概観する。中盤では、我が国の金融制度並びに金融業界における業態の種類やそれぞれの機能などを学ぶ。後半は、金融市場や資本市場、各種金融商品、様々なローン形態などにも触れる。最後に、企業経営と金融とがどのように結び付いているかを学習する。ここでは、企業の資金調達の種類、一方金融機関が与信(融資)をする上でのチェックポイントなどをわかりやすく解説する。</p> <p>[担当教員の実務経験]            銀行に35年間勤務し、人事部、本店・支店で大企業・中堅中小企業向け営業並びにリテール(個人)営業、リテール本部で人材育成・店舗戦略、本部で株主総会対応等を経験。特に人事部では人事評価、人事制度企画、人材育成(研修)、採用、シニア人材活用、ダイバーシティ推進等に15年間携わる。</p> <p>[実務経験に基づく項目]            日本の金融制度の基本的理解、我が国金融機関の種類、主要な銀行・信用金庫の動向、銀行・信用金庫の組織と仕事、金融市場と資本市場、金融商品の種類と概要、様々なローンのかたち、企業の格付け・金融機関の企業のチェックポイント</p>			
<b>この科目の到達目標</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新聞記事やニュースをみても基本的な金融動向を理解できるレベルの基礎的な知識を身に付けることができる。</li> <li>・ 自分のキャリア形成を考えるにあたり世の中の動きに敏感になり、ここで修得した知識が自己形成を考える上での指針となる。</li> <li>・ 特に、将来金融業界に進むことに関心のある学生には、キャリア形成上の意欲を身に付けられ金融に対する知識を醸成できる。</li> </ul>			
<b>成績評価の方法</b>			
<p>毎回の授業に出席し、毎週課せられた授業外学習に取り組み、情報収集・分析が行えているかどうかを課題、小テスト(小レポート)で評価する。加えて授業内容をどの程度理解できているかを定期試験で確認し、これらを総合的に判断し、成績評価を行う。</p>			
週	授業項目	週	授業項目
1	この講義の進め方(金融および業界用語の紹介)	8	銀行・信用金庫の組織と仕事/地方銀行の経営統合/証券会社について
2	サブプライムローン問題とリーマンショック	9	生命保険・損害保険会社、ノンバンクについて
3	足並み乱れる欧州と中国の経済事情	10	金融市場と資本市場を理解する
4	デフレ経済からの脱却“アベノミクス”への理解	11	金融商品の種類と概要
5	日本の金融制度の基本的理解・金融政策・財政政策とは	12	金融派生商品について
6	我が国金融機関の種類	13	様々なローンのかたち
7	主要な銀行・信用金庫の動向	14	企業の格付け・金融機関の企業のチェックポイント